

分布

1. 捕獲数から見た生息状況の推移

神奈川県、東京都、山梨県およびその周辺地域の平成元年以降のアライグマの捕獲頭数は鳥獣関係統計によると表1のとおり（平成元年から平成4年までは各県とも捕獲なし）。

- ・ 神奈川県が圧倒的に多い。捕獲数は平成10年から爆発的に増加。
- ・ 神奈川に隣接する山梨県および東京都の平成16年度の捕獲頭数（有害鳥獣駆除のみ）は、それぞれ0頭、33頭で、東京都側での増加は認められるが、山梨県側は捕獲が隔年でまだ定着していない様子。

表1 関東地方及び山梨、静岡のアライグマ捕獲頭数*

県名	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16*
茨城						1				1		-
栃木			5	2						1		-
群馬			2	1			3		1	2	2	-
埼玉						1			2	3	20	-
千葉				1				1	11	3	71	153
東京	1	7	4				1		1		12	33
神奈川		1	1			5	45	222	519	783	919	974
山梨				1	1		1		2		4	0
静岡		1	1			1		1	70	2	3	-
合計	1	9	13	5	1	8	50	224	606	795	1031	1160

* 狩猟、有害鳥獣駆除、学術研究、傷病鳥獣保護を合計した頭数

* - はデータを未入手

2. 神奈川県内の分布状況

平成12年度、15年度、16年度の生息確認情報をメッシュ地図に落としたのが、図1。

- ・ 平成12年時点で茅ヶ崎から三浦半島にかけて面的に分布。
- ・ 平成12年の時点で、茅ヶ崎から三浦にかけての地域とは離れた県北部地域（相模原および川崎市多摩区）に生息情報があった。
- ・ 平成15年は上記の地域（茅ヶ崎から三浦、相模原）の周辺に拡大していくとともに、離れた地点でも生息情報が得られた。
- ・ 平成16年の捕獲メッシュは県の東部で10メッシュ増加。 確実に生息域を拡大している。

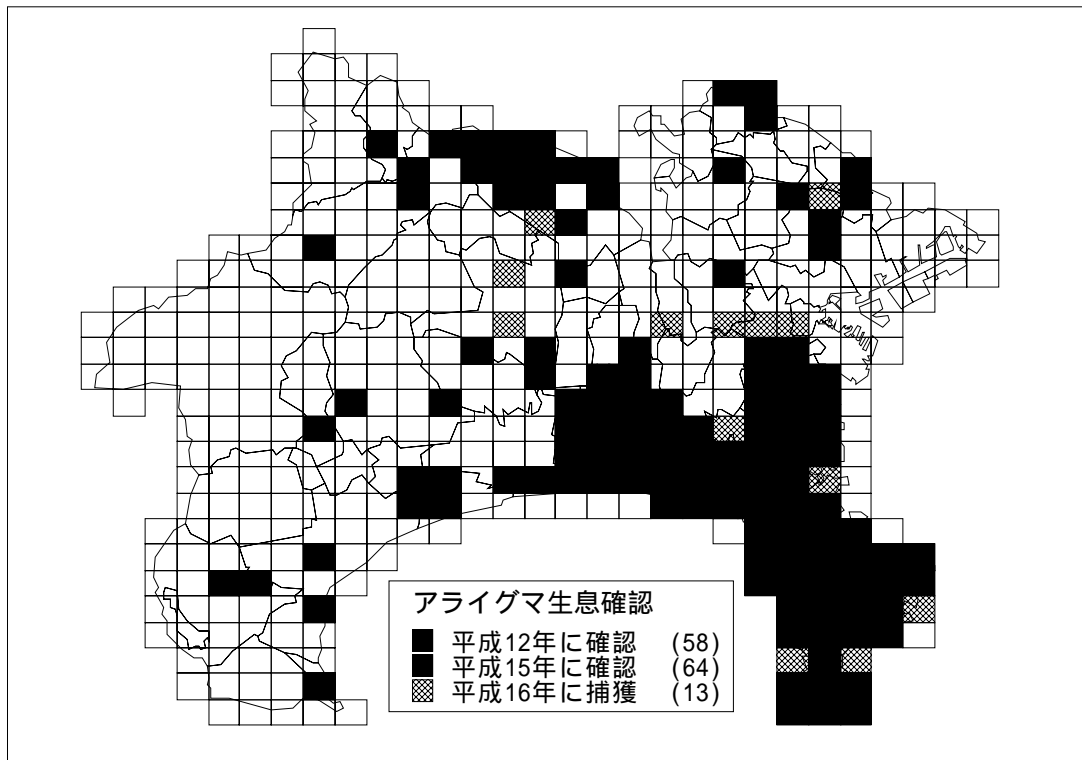


図1 神奈川県のアライグマ確認地域

平成12年度（アンケート調査、神奈川県）

平成15年度（アンケート・聞き取り調査、かながわ野生動物サポートネットワーク）

平成16年度（捕獲地点情報、神奈川県各市町村）

*メッシュを塗りつぶすにあたっては、古い年の情報を優先した。

3. 神奈川県、東京都、山梨県東部のアライグマ生息情報

神奈川県内の生息情報（平成12年度から平成16年度に、東京都内の捕獲情報（平成15年度及び平成16年度）、山梨県東部の生息情報（平成17年度）、相模原市および町田市の生息情報（平成17年度）をまとめたのが図2。また平成14年から平成16年の東京都内の市町村別捕獲状況をまとめたのが表2。

- 平成15年度及び平成16年度の東京都内の捕獲地点は、あきる野市周辺（八王子北部、日出町を含む）と町田市の2地域に分かれている。
- 表2より、町田市では平成15年にはじめて捕獲される。捕獲地点は相模原市に隣接する地域と横浜市青葉区に隣接する地点。
相模原市北部での生息確認も平成15年で町田市から分布が拡大した可能性が高い。
横浜市青葉区に隣接する地域ではその後捕獲や生息情報が得られていず、不明。
- 神奈川 - 山梨の県境部でも生息が確認されている（神奈川県藤野町と山梨県秋山村で2メッシュずつ）が、まだ情報は少なく連続していない。

平成18年度の業務の中では、東京、山梨のほか、千葉や埼玉、静岡東部等についてもアンケートにより生息情報・被害情報を収集する予定。

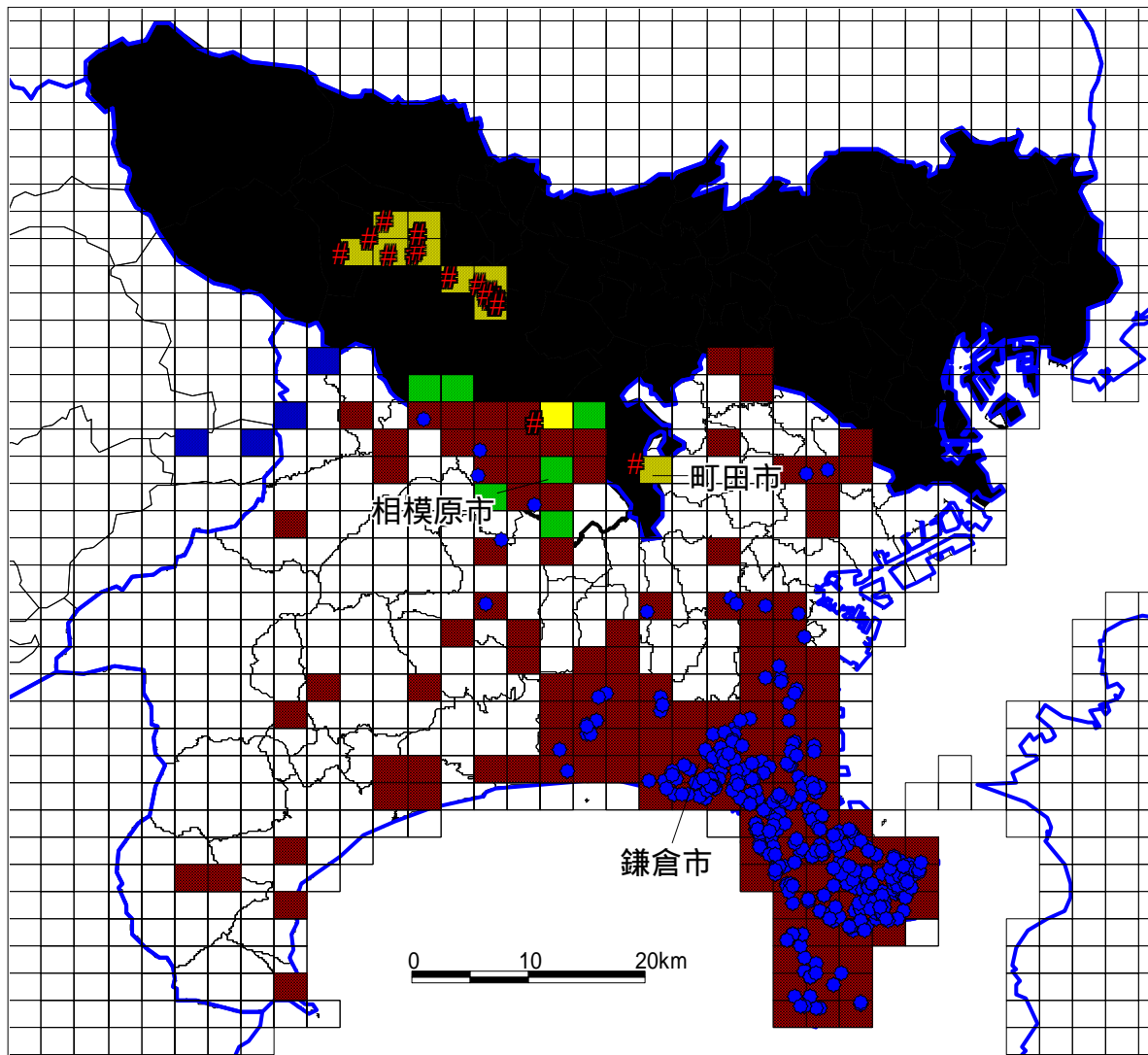


図2 神奈川県、東京都および山梨県東部のアライグマ生息情報

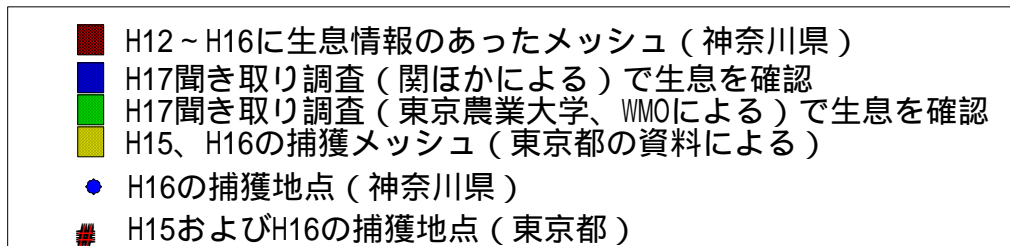


表2 東京都のアライグマ捕獲状況（捕獲頭数 / 捕獲許可頭数）

年度	青梅市	あきる野市	日の出町	八王子市	町田市	計
H14	0/10	6/10	-	-	-	6/20
H15	0/20	7/10	-	3/30	2/10	12/70
H16	0/20	3/10	5/5	21/50	4/70	33/155

- * 平成12年頃から西多摩地域で農作物への被害が報告され始める。
- * 平成14年から有害鳥獣駆除開始（農作物被害のほか、生活被害（住居侵入、池の鯉の食害）が発生したため）
- * 現在被害が集中しているのは、八王子市北部（まとめて捨てられた可能性あり）